

SOGIとは？

SOGIとは、性的指向と性自認の英語の頭文字をとったセクシュアリティ(性のあり方)の略称です(下図)。LGBTQ+が人(性的マイノリティの当事者)を表すのに対し、SOGIはすべての人が持つ性にまつわる属性を表す言葉として、近年使われ始めました。

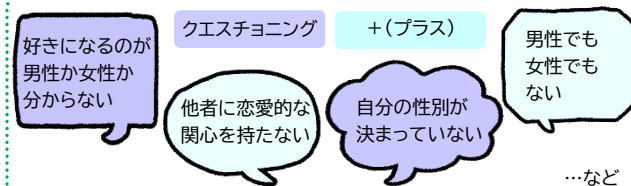
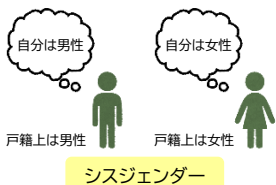
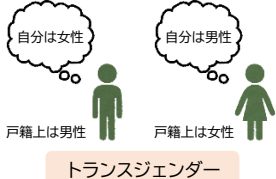
Sexual Orientation

恋愛感情などが向く性別
(性的指向)



Gender Identity

自分が認識している性別
(性自認)



2020年の調査*では、日本でLGBTQ+に該当する人の割合は8.9%となっています。これは、左利きの人とほぼ同じ割合です。



11人に1人がLGBTQ+のいずれかに該当

*「LGBTQ+調査2020」電通ダイバーシティラボ
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2021/0408-010364.html>

行ってみよう

プライドハウス東京レガシー

すべての人に扉を開く、常設の総合LGBTQ+センター。ライブラリーもあり、生活や法律、キャリアサポートなど様々な相談が受けられます。読書や交流に使用できるコミュニティスペースもあります。



東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」下車徒歩2分
新宿区新宿1-2-9JF 新宿御苑ビル2F
開館日時:月・火・金・土・日 13時~19時



見てみよう

マンガでわかるLGBTQ+「パレットーク」

LGBTQ+やフェミニズムについて、実話を漫画化しSNSで発信。書籍もあり。



Instagramは
こちらから！



NHK 福祉情報サイト ハートネット

障がいや病など「生きづらさ」を抱えた当事者、家族、そして社会を変えたいと願うすべての人のための総合情報サイト。

LGBTsの
相談窓口情報も
あります！



LGBT 就活

すべての人が「自分らしく働ける社会」を目指し、企業の取り組みや就活お役立ちコラムを紹介。



よりそいホットライン

セクシュアルマイノリティ専門相談あり。ガイダンスが流れたら4を押そう。0120-279-338



LGBTQ+(ブックガイド・知る/For Teens)

編集・発行／

足立区立梅田・鹿浜・竹の塚・舎人・やよい図書館
編集協力／ヤオキン商事株式会社 2022年3月

LGBTQ+

ブックガイド 知る

For Teens



LGBTQ+は、レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)、クエスチョニング(Questioning)、クエア(Queer)の頭文字をとった言葉です。

多様な性を表す総称のひとつとして使われ、+はこれらに含まれない様々な性を表します。

LGBTQ+を知る

『図解でわかる 14 歳からのLGBTQ+』

社会応援ネットワーク／著
太田出版 2021年
ISBN 978-4-7783-1773-7

ざっくり

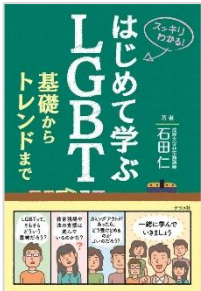


「LGBTQ+って何?」「どれくらいのとがにいるの?」など、LGBTQ+やジェンダーについてのQ&Aがぎゅっと詰まった1冊。基礎的なことはもちろん、法律や制度、文化など、様々なことが載せられています。図解を使ってわかりやすく書かれているので、入門書にピッタリです。

しっかり

『はじめて学ぶLGBT』

石田仁／著 ナツメ社 2019年
ISBN 978-4-8163-6582-9

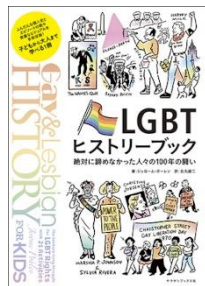


LGBTについてももう少し知りたい人に向けて、統計データなども使って丁寧に解説しています。トイレの問題から、気になる同性カップルの出会いや結婚、社会的保障や法律まで。ボーイズ・ラブをどう捉えるかなどの話題にも触れ、理解を深められます。

歴史

『LGBTヒストリーブック』

ジェローム・ポーレン／著 北丸雄二／訳
サウザンブックス社 2019年
ISBN 978-4-909125-18-7



ハイトクライム、数々の裁判、同性婚の実現……1900年代から現在に至るまで、LGBTの権利を求めて闘ってきた人達がありました。それらの主にアメリカのLGBT運動にかかわった有名無名の人々の個人史と、約100年の出来事が、各時代の貴重な写真と共につづられています。

伝える・受けとめる

『くまのトーマスはおんなのこ』

ジェシカ・ウォルトン／さく ドゥーガル・マクファーソン／え かわむらあさこ／やく
ポット出版プラス 2016年 ISBN 978-4-86642-002-8



女の子になりたい。そう伝えたら、もう友達ではいられないだろうか。悩みを抱えるティディアと、その子の「ありのまま」を受け入れる友達のおはなし。あなたの家族や友達が同じように悩みを打ち明けてくれた時、どう接するべきかのヒントが描かれています。

『先生と親のためのLGBTガイド』

遠藤まめた／著 合同出版 2016年
ISBN 978-4-77261-271-5



著者のトランスジェンダーとしての実体験をもとにLGBTについての知識や対応、当事者の子どもたちが家庭や学校で抱える悩みについて紹介します。関連の法律や相談窓口も掲載されているので、困った時、迷った時にも頼りになるガイド本です。

『自分らしく働くLGBTの就活・転職の不安が解消する本』

星賢人／著 翔泳社 2020年
ISBN 978-4-79816-341-3



「カミングアウトしたら内定を取り消されるの?」「面接ではどのような身だしなみをするべき?」。ゲイの当事者として就活で苦しんだ経験を持つ著者が、リアルな不安にお答えします。LGBT当事者だけでなく、自分らしい就活や転職をしたい方にもおすすめです。

家族のかたち

『タンタンタンゴはパパふたり』

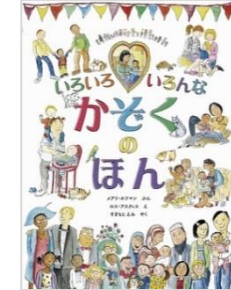
ジャスティン・リチャードソン&ピーター・パーネル／文
ヘンリー・コール／絵 尾辻かな子、前田和男／訳
ポット出版 2008年 ISBN 978-4-7808-0115-6



2羽のオスペンギンが恋に落ちて、家族をつくるまでを描いた絵本。ニューヨークの動物園で本当にあった出来事がもとになっています。多様性を知る絵本として、イギリスの保育園では定番中の定番。

『いろいろななかぞくのほん』

メアリ・ホフマン／ぶん ロス・アスキス／え
すぎもとえみ／やく
少年写真新聞社 2018年
ISBN 978-4-87981-629-0



家族っているんな形がある。一人親や大家族、両親の代わりに祖父母が親代わりの人、LGBTの家族や、ペットを自分の家族という人も。住むところも仕事も休日の過ごし方も、お祝いの仕方も、家族ごとに違います。あなたの家族はどんな家族ですか?

『同性婚』

南和行／著 祥伝社 2015年
ISBN 978-4-396-11422-0



たとえどれだけ時を共にしていても、同性カップルは家族として認められず、入院したパートナーのお見舞いもできません。ゲイの当事者としての経験と、弁護士として向き合ってきた様々な相談がつづられていて、家族や結婚のあり方を考えられる1冊です。